

学校紹介

学校法人 大牟田学園

大牟田高等学校



1. 本校の沿革

大正 8年 10月 1日	大牟田職業学校として創立 家具科・建築科を設置
大正 9年 11月	大牟田工芸学校と改称
昭和 18年 4月	大牟田工業学校と改称
昭和 23年 3月	大牟田工業高等学校と改称
昭和 28年 4月	大牟田高等学校と改称
昭和 50年 4月	普通科を新設
平成 元年 4月	普通科に特進コース設置
平成 9年 4月	中高一貫の中学校を創立
平成 15年 4月	総合学科を新設
平成 19年 4月	普通科に医歯薬コース設置

2. 本校の綱領・教育方針

正義 ・ 友愛 ・ 誠実

- (1) 一技一能に独自の自信を持ち、生きる社会の一隅を照らし得る中堅的産業人の育成
- (2) 冷厳な科学的理知と、温雅な人間的情意とを兼備する、強く豊かな人格の形成
- (3) 個性を生かした職業を通して、国民文化の向上と人類福祉の増進とに寄与せんとする信念の啓培

3. 本校の学校教育目標

- (1) 生徒が自ら学ぶ意欲と明るくたくましく生きていく力を育て、その進路保障に努める
- (2) 基本的な生活習慣を身につけさせ、自覚的な生活規律を育てる
- (3) 人間尊重の精神に基づく、豊かな人間性の育成に努める

4. 本校の特色・様子

本校には、現在 1,312 名の生徒が在籍している。普通科・総合学科・工業科の 3 科を有し、生徒一人ひとりの進路希望に対応できるように、様々なコース・系列を設置している。

(1) 3科の特色

①普通科

誠進(中高一貫)〈医歯薬・文理〉コース・特進コースの 2 コースに分かれており、1 日 6 限授業の他に、朝課外・演習・夕課外を実施して授業時数を確保すると共に、充実した授業を展開している。特に、誠進コースにおいては習熟度別授業(英語・数学)を実施している。また希望者は、20 時までのナイトスタディーを受講できる。

②総合学科

1 年生は全員が共通のカリキュラムで学び、2 年次から、自分の希望・能力・適正に応じて 6 系列(進学・テクノロジーデザイン・ビジネスマネジメント・マルチメディア・子ども福祉・フードクリエイティブ)に分かれて学んでいく。6 系列それぞれが特色ある授業を実施しており、プロの外部講師から学び、また実習を通して、様々な資格・検定を取得している。

③工業科

1 年生は全員が共通のカリキュラムで学び、2 年生から、自分の希望・能力・適正に応じて建築科・土木科・電気科・電子機械科に分かれて学んでいく。4 科それぞれが、実習を通して専門的な技術習得を目指しており、多くの資格・検定を取得している。就職については、県内だけでなく関東・関西からも多くの求人があり、毎年、就職率は 100%となっている。

(2) 盛んな部活動

「文武両道」を目指して、多くの生徒が部活動(体育部 15, 文化部 17)に入部している。

体育部では、駅伝部・柔道部・野球部・ソフトテニス部が全国大会やインターハイで活躍しており、特に駅伝部においては、全国高校駅伝大会に福岡県代表として23年連続通算32回の出場を果たし、5回の全国優勝の実績を持っている。また、野球部も第79回選抜高等学校野球大会に初出場した。柔道部もインターハイの常連校であり、アテネオリンピックでは、本校の卒業生が選手として出場した。



文化部では、吹奏楽部・弁論部が全国大会で活躍している。吹奏楽部は、九州吹奏楽コンクールで毎年上位に入賞しており、特にマーチングにおいては、九州代表として2年連続で全国大会に出場し、銀賞を受賞している。また、小学校や中学校からの依頼演奏も多く、地域との交流にも力を注いでいる。弁論部も、2年連続で全国高校ディベート選手権(ディベート甲子園)に出場し、熱い論戦で常連校を破るなど、近年、確実に力をつけてきている。



5. 本校の数学教育

本校では、3科それぞれに幅広い学力層の生徒が在籍している。また、それぞれの進路希望先も異なるため、科ごとに独自のカリキュラムを組み、工夫を凝らしながら授業を行っている。

(1) 普通科

- ①誠進〈医歯薬〉コース：数学Ⅰ・A【6単位】
数学Ⅱ・B【7単位】
数学Ⅲ・C【9単位】

国公立大学医歯薬学部への合格を目指す生徒が在籍しているコースであり、難関国公立大学の2次試験問題に対応できる数学力の養成を目標としている。そのため、1年次から入試問題の演習を行い、さらに2年次からは数学Ⅲ・Cの入試問題も重点的に行いながら、記述試験において確実に高得点を獲得できる応用力と答案作成能力を身につけさせている。また、学習量を確保するために、1年次より「週末課題」・「長期休暇課題」を課している。また、日々の学習内容の定着を図るために「朝学テスト」・「確認テスト」を毎週実施している。課題の量と質は、学年毎に異なり、それらを調整することによって、「自学自習」の時間も確保している。

- ②誠進〈文理〉コース：数学Ⅰ・A【6単位】
数学Ⅱ・B【7単位】
数学Ⅲ・C【8単位】

2年次の10月までは文理共通で数学Ⅱ・Bの授業を習熟度別に行っている。それ以降は、文系は、大学入試センター試験主体の学習を中心に展開し、3年次からは、入試問題等の演習と大学入試センター試験対策を両立させながら指導している。理系は、数学Ⅲの教科書に進み、並行して大学入試センター試験対策の指導をしている。3年次の7月までに数学Ⅲ・Cの教科書を終了させ、夏休みから、国公立大学の2次試験対策を中心に指導する。文理共通な指導として、毎朝行われている「朝学テスト」で分野ごとの理解度を確認している。週末には、課題プリントを作成・配布し、休み明けに提出させて計算力・応用力の強化を図っている。

③特進コース：数学Ⅰ・A【10単位】

数学Ⅱ・B【9単位】

数学Ⅲ・C【8単位】

大学入試センター試験において高得点を獲得できるように、確かな計算力と応用力を身につけさせることを目標としている。そのために、標準単位に対して大幅に授業単位数を増やし、各学年、時間をかけながら、教科書レベルの問題は確実に解けるように指導し、また、1年次から大学入試問題を演習として取り扱うことによって、入試への高い意識を持たせている。そして3ヶ年かけて、国公立大学の2次試験や難関私大の記述試験において確実に得点できるように、また、十分な答案作成能力を身につけさせることができるように指導している。

(2) 総合学科

1年次は「数学Ⅰ+A」を【5単位】で実施している。確かな計算力と応用力を身につけさせることを目標としており、教科書の計算問題は確実に解くことができるように指導している。毎週、計算テストを実施し、計算力の定着を図るとともに、理解度が不十分な生徒に対しては補習授業や個別指導を行っている。

①進学系列：数学Ⅱ・B【9単位】

数学Ⅲ・C【8単位】

私立大学受験への対応を主な目標としており、教科書レベルの問題を確実に解くことができるように指導している。上位層の生徒に対しては、国公立大学の受験も視野に入れさせ、個別指導を行うことによって、2次試験に対応できる応用力を身につけさせている。

②その他5系列：2年次・・・数学Ⅱ【2単位】

3年次・・・数学Ⅱ【2単位】

様々な計算問題に対して、確実に正解できる計算力を身につけさせることを目標としている。進学希望者に対しては、繰り返し学習ができるように演習プリントを随時作成して、基礎学力の向上と定着を図っている。また、就職希望者に対しては、就職試験や公務員試験、様々な資格・検定取得へ向けた授業を展開している。



(3) 工業科（4科共通）：数学Ⅰ【4単位】

数学Ⅱ【2単位】

数学Ⅱ【3単位】

様々な計算問題に対して、確実に正解できる計算力を身につけさせることを目標としている。1年次の1学期まで、教科書は使わず、中学レベルまでの四則演算を復習することによって、基本的な計算力の向上を図り、2学期から教科書の内容を進めている。数学Ⅰでは、専門教科との関わりが深い「三角比」を特に力を入れて指導している。数学Ⅱは2年間かけて指導をしており、内容を確実に理解できるように時間をかけて指導している。数学Ⅱも数学Ⅰと同様に、専門教科との関わりが深い「三角関数」、「指数・対数関数」に力を入れている。

工業科は就職希望者が多いため、3年次の1学期は、就職試験対策の授業を行っている。また、公務員希望者や進学希望者に対しては、試験対策として朝課外を実施することによって、正規授業では取り扱わない「数学B」の授業を行っている。

(4) その他の取り組み

普通科・総合学科・工業科の共通な取り組みとして、各学期にそれぞれ1回ずつ「数学検定」を実施している。これは、それまでの授業内容の理解度と達成度を確認させるために、また、取得検定の1つに数えることができるために、希望者を対象として受検を薦めている。その際、申し込んだ生徒が希望すれば、検定合格のための特別指導を行っている。

(文責 大牟田高等学校教諭 市川英行)